

ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

研究機関名	広島大学				
プログラム名	同位体考古学、動物考古学の世界～歴史・文化を明らかにする科学の力～				
先生(代表者)	石丸恵利子(いしまるえりこ)・総合博物館・研究員				
自己紹介	私たちの暮らしや自然環境の未来を考えながら、人と動物との関わりや資源利用の歴史について研究しています。昔の人はどんなものを食べていたの?との疑問と興味がきっかけとなり、遺跡の骨や貝、土器からさまざまな暮らし・文化の解明に挑戦しています。研究の合間にはカーブ観戦、音楽鑑賞を楽しんでいます。				
開催日・募集対象	令和3年8月8日(日)	受講	中学生・高校生	募集	6名
	令和3年8月22日(日)	対象者	中学生・高校生	人数	6名
	令和3年9月19日(日)		中学生・高校生		6名
集合場所・時間	広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門 (集合時間)		午前9時		
開催会場	広島大学 総合博物館 埋蔵文化財調査部門 整理室(東広島キャンパス) 住所: 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1(特高受変電所内2階) アクセスマップ URL: https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/busstop_higashihiroshima/aca_3				
内 容					
<p>なぜ遺跡を発掘するのでしょうか。またそこから何がわかるのでしょうか。本プログラムでは、遺跡に残された動物骨や貝殻などから昔の暮らしや文化を明らかにする同位体考古学、動物考古学と呼ばれる分野の研究について紹介します。それらの研究には、科学の力がとても大きな役割を果たしており、遺跡から発掘される小さな骨や貝の破片、土器などの分析から、昔の人たちは想像上にダイナミックな移動・交流をして、資源を有効に活用した暮らしを営み、多様な食環境にあったことがわかってきました。</p> <p>プログラムの講義では、研究の手法や原理、最新の学術研究を学び、大学での講義・研究の場を体験します。実習では、実際に約4000年前の遺跡から出土した動物骨や貝殻資料を手にとって観察し、種や部位の鑑定(同定)に挑戦します。また、同位体分析において行われる試料の取り扱い(サンプリング、秤量、試料作成など)を通して、作業の緻密さや理化学分析の原理について理解を深め、科学の魅力・不思議・可能性に迫ります。さらに、室内の講義・実習だけでなく、屋外の遺跡にも足を運び、古代人の暮らしや自然環境に思いを巡らせ、また土器づくりによって、昔の技術や古代人の感性にも触れたいと思います。ぜひ一緒に楽しい体験をしましょう。</p>					
持ち物			特記事項		
・筆記用具 ・タオル類 ・帽子(遺跡見学の際、屋外を歩きます)			・昼食とクッキータイムの軽食や飲みものはこちらで用意します。食物アレルギーのある方は事前にお知らせください。対応ができない場合は、各自ご持参をお願いします。 ・動きやすい服装・靴で参加してください。遺跡見学では屋外を歩きます。		



<p>・カメラやお好きな飲みもの等を持参していただいても結構です。</p>	<p>参加日の気候(特に暑さと日差し)に対応できる服装でお越しく下さい(東広島キャンパスは、平地・沿岸部と比べて夏の温度は数 高いです)。 ・豪雨や台風などの天候不良による公共交通機関の乱れ、また新型コロナウイルス感染症などにより健康や安全の確保が困難と予想される場合、中止や日程の変更をします。その際は、事前にご連絡します。 ・開催の可否は、広島県および広島大学主催イベント等開催の対応方針に従って決定します。</p>
<p>スケジュール</p>	
<p>8月8日(日)、8月22日(日)、9月19日(日)ともに同一プログラム</p> <p>9:00～ 9:30 受付(集合場所:広島大学総合博物館 埋蔵文化財調査部門)</p> <p>9:30～ 9:45 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>9:45～10:10 講義 「動物考古学って何? 歴史のなかの動物たち」</p> <p>10:10～10:20 休憩</p> <p>10:20～11:20 実習 「縄文遺跡出土の骨・貝を観察しよう、鑑定しよう」(途中休憩あり)</p> <p>11:20～12:00 実習 「遺跡に行って、昔の自然環境・暮らしについて考えよう」 * 記念撮影</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～13:30 講義 「同位体考古学って何? 歴史を明らかにする仕組み、骨・貝・土器を科学する」</p> <p>13:30～15:00 実習 「同位体分析の試料サンプリングに挑戦しよう」(途中休憩あり)</p> <p>15:00～15:30 クッキータイム・ディスカッション</p> <p>15:30～16:30 実習 「土器を観察しよう、土器づくりを体験しよう」(途中休憩あり)</p> <p>16:30～17:00 修了式(未来博士号の授与、アンケート記入・回収)</p> <p>17:00 プログラム終了・解散</p>	

課題番号	21HT0165	分野	歴史・化学	キーワード	同位体考古学 動物考古学 ストロンチウム ネオジウム 炭素 窒素 遺跡 土器 動物 骨 貝
------	----------	----	-------	-------	---

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	広島大学総合博物館・石丸恵利子
住所	広島県東広島市鏡山1-1-1
TEL番号	082-424-6198
FAX番号	
E-mail	ishimaru@hiroshima-u.ac.jp
申込締切日	2021年7月25日(日)
<p>当プログラムは先着順にて受付を行います。上記の申込締切日以降でも、定員に達しておらず、参加申込の表示が「受付中」あるいは「残りわずか」であれば、申し込みを受け付けることができます。</p>	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2018年度 ~ 2021年度	挑戦的研究(萌芽)	18K18527	土器胎土のSr-Nd-Pb同位体分析による古代土器製作圏と流通圏の解明
2014年度 ~ 2018年度	基盤研究(C)(一般)	26350376	近世城下町の資源利用と文化・流通に関する動物考古学および同位体考古学的研究
2008年度 ~ 2010年度	基盤研究(C)(一般)	20509010	縄文時代における生業・交易圏の復元研究-動物遺存体の産地同定を中心として-



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000050510286>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。